



WINTER SEMINAR

2019.1.21~2019.1.22

主催

原子力規制人材育成事業（原子力規制庁）「大学等放射線施設による緊急モニタリングプラットフォーム構築のための教育研究プログラム」
（併催）長崎大学原子力災害対策戦略本部 原子力災害時中核人材研修

事務局

長崎大学原爆後障害医療研究所 放射線生物・防護学分野
〒852-8523 長崎市坂本1-12-4
TEL 095-819-7150 E-mail r-haya@nagasaki-u.ac.jp

原子力災害 緊急モニタリング WINTER SEMINAR

2019.1.21~2019.1.22
長崎大学グローバル総合研究棟・アイトーフ 実験施設





開催概要

ねらい

緊急モニタリングと連動した適切な防護措置と原子力災害医療は、原子力災害対策の両輪と言えます。原子力災害医療の現場においても、正しい被ばく線量評価につながるモニタリングは必須スキルの一つです。このセミナーでは、原子力災害医療と緊急モニタリングの接点を学び、モニタリングを武器にこの両輪で活躍できる人材の育成を目指します。

研修生・講師陣

研修生	所属
森井 志織	東京大学大学院 理学系研究科 地球惑星科学専攻
木村 建貴	京都大学大学院 工学研究科 都市環境工学専攻
山口 優輔	京都大学大学院 生命科学研究科 統合生命科学専攻
福田 将矢	京都大学大学院 理学研究科
佐藤 隆文	徳島大学大学院 保健科学研究部 保健学専攻 医用情報科学領域
木ノ桐 瑛	徳島大学大学院 保健科学研究部 保健学専攻 医用情報科学領域
三枝 裕美	長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 災害/被ばく医療専攻

講師	所属	
山下 俊一	長崎大学学長特別補佐・福島県立医科大学副学長	
鈴木 啓司	放射線災害医療学 准教授	
松田 尚樹	長崎大学原爆後障害医療研究所	放射線生物・防護学 教授
山内 基弘		助教
福田 直子		アイソトープ診断治療学 技術専門職員
宇佐 俊郎	長崎大学病院	国際ヒバクシャ医療センター 准教授
長谷川 有史	福島県立医科大学	放射線災害医療学 教授
高尾 和博	原子力規制庁	玄海原子力規制事務所 上席放射線防災専門官
渡邊 裕貴		放射線防護企画課
武田 沙江加	環境省	放射線健康管理担当参事官室



プログラム

2019年1月21日（月）

時間	研修内容	講師	場所
8:45	集合、ガイダンス	事務局	アイトープ実験施設・セミナー室
9:10-9:50	日本の原子力災害医療制度	渡邊 裕貴 武田 沙江加	グローバルヘルス総合研究棟・大セミナー室
9:50-10:30	原子力災害医療とは？	山下 俊一	
10:40-11:40	放射線の基礎	鈴木 啓司	
12:40-13:40	外部被ばく、内部被ばくと線量評価	松田 尚樹	アイトープ実験施設・セミナー室 内部被ばく測定室
13:55-16:35	基本モニタリングと緊急被ばくスクリーニング実習	山内 基弘	
16:35-17:20	ホールボディカウンタ見学と内部被ばく線量評価実習	福田 直子	
終了後	情報交換会（自由参加）		生協食堂

2019年1月22日（火）

時間	研修内容	講師	場所
9:00-9:50	放射線事故事例	宇佐 俊郎	グローバルヘルス総合研究棟・中セミナー室
9:50-10:40	病院外での医療対応	長谷川 有史	アイトープ実験施設・セミナー室
10:50-11:50	原子力防災体制と緊急モニタリングセンターの機能	高尾 和博	
12:40-16:30	病院での汚染への対応（自由見学）		

